



学校便り 「志々伎の風」

No.2

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成29年4月13日

文責

平戸市立志々伎小学校

校長 村田 俊郎

【勝負の4・5月】

4月10日に1年生5名が入学し、35名全員がそろいました。しっかり者の1年生です。きよろきよろすることなく、しっかりと話を聞いていました。次の日も、お兄さんお姉さんとにこにこしながら登校してきました。

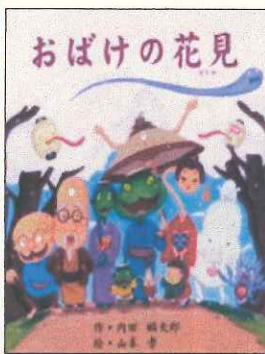


学級担任時代、学校・学級生活の1年間を飛行機を例にして子どもたちや保護者の方に話をしていました。飛行機は、離陸するときが最もエネルギーが必要です。離陸がうまくいき上空に達したら、安定した飛行になります。学校・学級生活も同様で、4・5月が最もエネルギーが必要です。4・5月が勝負の月です。

ご家庭でも子どもたちの話に耳を傾け、励ましていただければと思います。心の安定につながり、やる気がわいてきます。また、今の社会でとても必要とされているコミュニケーション能力も、目と目を見つめ合って聞くこと・話すことで育ちます。

【親子で読書・みんなで読書】

「おばけ長屋」に朝がきました。今日はろくろ首やカッパ、のっぺらぼうに一つ目傘など、日本のおばけや妖怪が花見です。あねさんのつまびく三味線にみんなうっとり。お花も満開です。ところが一転急に雷がごろごろと鳴りだしました。



【着任しました】

複式支援員…〇〇 〇(山田小学校より) はじめまして。3・4年生、5・6年生の複式支援員としてお世話になります。

子どもたちの学習に対する不安が少しでも緩和できるように、担任の先生方と協力して頑張っていきたいと思っています。

よろしく願いいたします。

【図書館開き】

志々伎小学校の子どもたちは、読書量が豊富です。毎年170冊程度の貸し出し数です。永田図書館から届けられている学級文庫用を貸し出し冊数に入れると200冊ほどになります。子どもたちが学校に来る日が約200日ですから、1日に1冊程度になります。

4月12日の図書館開きの後、早速1年生は5冊本を借りました。本と友だちになり、過去や未来など冒険の世界へ旅立ってほしいと思います。

